

平成 23 年第 4 回運営推進会議議事録

日時	平成 23 年 9 月 27 日
場所	グループホーム優瑠里 和室
参加者名	亀井（神越サロン代表）、河野（老人会長）、中川（喜須来地区婦人会長）、菊池（地域包括センター）、浅野（神越区長）、岡村（ボランティアグループホット）、岡本（施設長）、浅野（管理者）
<p>1. 行事報告 と反省</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭り           <p>家族が参加されることで入居さんがいつもと違う表情をされていた。 地域の人たちも楽しみにしている。 男性スタッフがアナウンスをしていたが、女性をアシスタントにつけると細かな配慮やアドリブができたのでは？音楽を流すなど楽しい雰囲気作りも大切。 芋たきの切り方が高齢者向けで勉強になった。</p> </li> <li>・スタッフの結婚式           <p>グループホーム駐車場でスタッフの結婚披露宴を行った 入居者からお祝いのメッセージを頂いた。其々がマイクを持つとしっかり挨拶されていた。普段は字を書かない入居者さんから手書きのメッセージを貰えた。</p> </li> </ul> <p>2. 看取りについて GH での看取りについての現状や考え方はどうか？</p> <p>昨年、お一人 GH で看取った方がおられる。本日の出席者のお一人とご縁の在る方で看取りの際には、泊り込みで付き添って下さった。 「親戚の了解を得て付き添ったが、若いスタッフが 1 時間おきに見に来てくれて安心したし、心強かった。よく気配りしてもらい本人も安心して逝けたと思う。」 GH は、夜間スタッフが各ユニットに一人となる為、スタッフだけの看取りは難しい面がある。ご家族の協力があり、最後の看取りができた。 若いスタッフは喪失の経験が無い者もあり、スタッフ同士フォローしながら対応して行きたい。</p> <p>3. 避難訓練について</p> <p>毎月 1 回 GH 内で避難訓練を実施。年 2 回、消防署立会いで訓練を実施している。 最初は戸惑っていた入居者も毎月の訓練の継続により、スムーズに非難できている。 消防署立会いの訓練では、入居者も緊張感を持ち参加しており、具体的な非難方法の指導をうけている。</p> <p>4. 地震、津波の時</p> <p>南海沖地震での津波想定では、神越地区は 90% が浸かってしまう。公民館は避難所にならない。とにかく地震がおこったら、より上に逃げて下さい。（区長より） 今後、地震や津波を想定した避難訓練も実施していきたい。</p>	